

線材加工の独自技術と 高度なニーズ対応力で成長

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



銅線を自在に曲がりやすくする

業務内容 銅の線材を細く伸ばし、 より合わせる線材加工

銅の線材を細く伸ばしたりより合わせたりする線材加工を手がけている。こうした銅線は電線用導体として、掃除機のコードのように何回引っ張り出しても折れ曲がらず、しっかりと掃除機本体に収納できる。この銅線にすずめつきする「すずめつき軟銅線」を得意とし、ゴム被覆時の化学変化や変色の防止、接続のはんだ付け性に優れる。

電子部品用の鉛フリーはんだめつき銅線も手がけ「予備はんだ」としての性能や耐加熱変色性、高い密着強度、ウイスキーの発生抑制などの機能を備える。これらの線材をニーズに合わせた線径に加工できる。

強み ダイス伸線加工や 溶融めつき工法でリード

線材をダイスと呼ばれる治具に通して線径を小さくするダイス伸線加工では、60年間蓄積してきたノウハウにより、高品質・高付加価値化を実現している。腐食による銅の表面品質の低下を抑えるため、すずめつきを施す溶融めつき工法も創業以来、技術を極めてきた。より線加工では複数の線を束ねてより合わせ、しなやかで柔軟な電線に加工できる。

顧客に密着した営業・開発に注力し、時代とともに変化するニーズを的確に反映する製品を手がけてきた。少量多品種の電線を主力に、顧客に選ばれる製品づくりに励んでいる。

人材育成 従業員の100%が 品質管理検定合格者

平成26年には廣瀬康輔社長が37歳で就任し、従業員も20代や30代を中心に若返りし、

活気ある組織づくりを進めてきた。40代、50代、60代のベテラン世代もバランスよくそろう。

ものづくりの人材育成では、(一社)日本規格協会の「QC(品質管理)検定」合格を、全従業員に課している。平成28年9月時点では全従業員が合格し、3級以上が58%を占める。採用では業務や組織への適性を重視し、定着率が高い。「全従業員が品質向上についての研究員である」という経営理念に基づき人を育て、永続的な発展を目指す。

今後の展望 研究開発室に高精度測定機を 導入し、開発体制を整備

平成28年4月に研究開発室を設置し、設計段階から大手顧客のニーズを取り込みやすい体制を整えた。研究開発室には高精度測定機としてデジタルマイクロスコプや蛍光X線膜厚測定機を導入し、これまで踏み込めなかった開発案件もクリアしようと試みている。

品質向上も不断の課題。発生しやすい再発不良やボカミス(ヒューマンエラー)をなくすため、改善の手法として「遠藤メソッド」を導入している。その認定トレーナーを平成28年9月時点で2名配置しており、品質用語の定義も社内統一するなど、日々の活動の中で普及に努めている。



工程で銅線の品質を入念に検査



社員旅行で沖縄の自衛隊を見学

当社の歴史



当社は昭和31年に銅の伸線加工を行う会社として設立し、銅の線材加工の専門会社として発展してきました。昭和52年には電子部品のリード線用途に、溶融めつき工法による独自のはんだめつき線を開発しました。以来、従来の電気めつき工法よりも安価な大量生産を可能としています。

代表取締役 廣瀬 康輔さん

<http://www.showa-seisen.co.jp/>

大版28 ISO 9001

主な事業内容

銅の線材加工(伸線・めつき・より線)

主な取引先(納入先)

電線メーカー、電子部品加工メーカー、EMS(電子機器製造受託サービス)

- 住所 〒584-0023 富田林市 若松町東3-2-33
- TEL 0721-25-7749
- FAX 0721-25-7449
- 創業 昭和31年10月
- 設立 昭和31年10月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 20名